

会 議 録

1 会議名

第8回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告（公開）

(2) 委員報告（公開）

ア 令和2年度「中学生との意見交換会」取組状況

(3) 協議（公開）

ア 令和2年度地域活動支援事業の3次募集の取扱いについて

イ 出張地域協議会について

3 開催日時

令和2年10月28日（水）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

浦川原地区公民館 3階 講堂

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：相澤誠一、赤川義男、池田幸博副会長、小野正広、春日清美、北澤誠、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宏禎会長、宮川勇、村松進副会長
- ・ 事務局：浦川原区総合事務所横田所長、小嶋次長、五井野次長、産業グループ山本グループ長、滝澤主幹、建設グループ渡辺グループ長、市民生活・福祉グループ市村グループ長、春日上席保健師長、教育・文化グループ山崎グループ長、総務・地域振興グループ北澤班長、藤澤班長、村松主事

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・ 会議の開会を宣言。
- ・ 出席者は12人。
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出

席しているので、会議が成立する旨を報告。

- ・ 会議録の確認：北澤正彦委員に依頼。

【藤田会長】

それでは、次第の「2 報告」に入る。

「(1)会長報告」については、持ち合わせていない。

続いて「(2)委員報告」に移る。中学生との意見交換会について、村松副会長から中間報告をお願いします。

【村松副会長】

資料1をご覧ください。9月14日に浦川原中学校で、私と校長以下3名、総合事務所2名で事前打合せを行った。

また、10月6日に、私と池田副会長、春日委員、宮川委員、総合事務所1名の出席により、アイディアプレゼンを行った。資料には、8班に分かれて浦川原のいいところ探しをした結果が記載されており、物産品や事業所、人物、ゆるキャラなどに分けて挙げられている。

10月14日に生徒の学習の中で、食品コース、名所コース、企業コースの3コースに分かれて施設見学を行うことが決定した。例えば、名所コースでエコバックを制作するなど良いことだと考えているが、食品コース及び企業コースをどのような形で実施するべきか打合せ中である。

11月18日に3コースに分かれて施設見学を実施する予定であり、それを1つの成果としてまとめたい。当日は、浦川原物産館が休みで食品コースのおやきが実施できないため、別に総合学習の時間を設けて実施する予定である。また、おやきの体験ができない分として、名所コースの一部を組み込まなければ時間がもたないため、18日に向けて中学校と打合せをして決めていきたい。

地域協議会委員も4名3班態勢で3コースを回りたいと思っている。

【藤田会長】

意見等はあるか。

【春日委員】

10月16日に集まった際、本取組の最終目標を一番疑問視していたところであるが、中学校とその後の話は進んでいるのか。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

即日中学校へ確認した。担当の先生は、コロナ禍の学校休業に伴い、取組が例年より遅れたため、今年度内で成果を出すことは厳しいことから、来年度のうらがわらまつりなどの地

域のイベント等で、本取組の紹介や制作したもののアピール、販売をしたいと考えている。また、中学生のアイデアが実現できるものなのかどうか、そういったことも施設見学の中で学習することとしている。

【春日委員】

食品コースが最も疑問視しているところであるが、今年度は、3コースを中学生が見学し、その後に何をするのか考えるということなのか。

【村松副会長】

例えば、自然芋そばやおやき、お酒に、生徒たちが作ったラベルを貼ったらどうかということが学校の先生の狙いである。それよりは、最初から目的を1つにまとめてやったらどうかと実行委員の中で打合せを行ったが、答えが出てこなかった。

施設見学の後に、また皆さんと話し合っ、どのようにもっていくのか、学校の先生とも話をしながら答えを出していきたい。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

施設見学が終わった後に、生徒が各班に分かれて学習してきた内容を取りまとめて、最終的に絞り込んでいくが、その段階で実行委員からそこに加わっていただいて、実現できるかできないかのアドバイス等をいただきたいという意向を中学校から聞いている。最終的には、学習してきた結果をまとめたものを地域協議会の皆様の前で生徒が発表する機会を設けたいとも聞いている。

【藤田会長】

来年に持ち越すという話だが、来年3月までの話なのか、それとも中学1年生が2年生になっても継続していくということなのか。

【教育・文化グループ長山崎グループ長】

来年度に入ると中学1年生が2年生になるため、学校側が主導で取り組んでいくことになる。その前段として、地域協議会の皆さんから実行委員の方を中心に、アドバイスや指導をいただく形になるかと思うが、実行委員長いかがか。

【村松副会長】

3班に分かれて施設見学を行い、生徒や地域協議会委員が施設見学で学んだことを踏まえたアドバイスをして、1つにまとめたものを生徒が発表すると考えている。その後、学校で来年の3月末をもって、出たアイデアからパッケージなどを作っていくことになると考えている。

【藤田会長】

学校の方針もあると思うが、そもそも中学生との意見交換会は2年生でやっていたものであるが、学業等の予定が忙しいことから、1年生に変更した経緯がある。今年度からまた2年生を対象にするということか。

【村松副会長】

2年生を対象にするということではない。来年度はまた新しい1年生を対象に行っていく。

【北澤（正）委員】

来年度以降は学校側が教育の中で活動を続けて結論を出していくというように思えた。そうしたときに、中学2年生になった時に、地域協議会も継続して関わっていくという話にも捉えられる。どの時点で意見交換会を終了したという場面が作れるのか、実行委員長はどのように考えているのか。

【村松副会長】

生徒たちが地域協議会の前で、アドバイスを交えながら発表する機会が、地域協議会とのかかわりの区切りだと考えている。

【北澤（正）委員】

発表する際に、我々地域協議会委員が中に入って具体的に何をするのか、また何を目的とした発表会なのか。体験をしてきただけの発表で、今回テーマを持ったことに対する完結する発表ではないのか。

【村松副会長】

テーマに基づいての発表であり、お酒や文化などいろいろあるが、ワークショップ形式で3コースに対しての自分たちの思いを発表する場である。

【北澤（正）委員】

我々地域協議会委員が発表を聞いて、中学生の意見に対して何かできること、助言等をするのか。それとも、感想の発表会なのか、ただ単に感想を発表するのならそれで構わないが、生徒たちが何かプレゼンするような方向性に捉えられるので、どう地域協議会委員が向き合っていくのか見えてこない。

【藤田会長】

そもそも目的は、中学生に浦川原区にあるいろいろな大切な宝物を知って、関心を持ってもらい、様々な発案をしてもらい、それを広くアピールしていくことである。

今回の取組については、趣旨から外れてはいないが、学校側の教育方針の中で、3つのコースを歩いて、そして、その中で学んできたものを、どう絞り込んでいくのかがこれからの課題であると考えます。

【教育・文化グループ山崎グループ長】

1点補足する。3コースに分かれて生徒が学習する。その内容を踏まえて、生徒が学校の総合学習の中で学んだことを班内で共有し、地域協議会委員の皆さんの前で発表する。まとめを発表する前段として、まとめた内容についてこれで良いのか、あるいは別のご意見があるのかということ、実行委員の方々からアドバイスをいただきたいとのことである。

最終的にまとめを発表する段階では、ある程度取組が明確になったものが発表されるのではないかと考えている。そうでなければ、年度をまたいだり、委員の方々の関わり方にも影響が出てくると思われるので、そこである程度方向をまとめて、その後次年度のイベント等に参加するための準備を、学校が中心に行っていくと理解しているが、実行委員長よろしいか。

【村松副会長】

その理解でよい。

【北澤（正）委員】

実行委員の皆様が一生懸命にやってくれたので、いい形でのまとめができればという思いでの発言であったが、山崎グループ長の説明で理解できた。実行委員の皆様にはこれからもよろしくお願ひしたい。

【藤田会長】

他にあるか。

【杉田委員】

18日に見学して、その後に中学生の皆さんに助言ができることがあればするという場面であればそれで良いのだが、中学校はそこまで考えているのか。施設見学で学んだことをまとめて、人前で発表することは教育的観点からして非常に良いことであるが、まとめの発表のみであるならば、地域協議会委員はただ発表を聞くだけになってしまう。

今年度中に、ある程度議論する必要がある、そのような場でなければ、同席する必要はないのだろうか。

【池田副会長】

1年生のうちにこの発表会を行って、2年生になったら地域協議会から手を離れ、先生とイベント等で成果を発表する。そのような場を設けることになっているため、2年生がイベント等で成果を出すためにアイデアや補助的な意見を出すのが望ましいのではないだろうか。

【杉田委員】

中学生がパッケージなど含め、自分たちの考えが反映された発表会であれば良いと考える。18日の施設見学の感想だけにならないように、発表会における内容のコンセプトを明確にしてほしい。

【池田副会長】

学校の方針もあるため、1年生のまとめの形として、この発表会を開く。その中で1年生は感じたことを発表し、私たちはそれを聞いて、中学生はこのように感じているのかなど得るものもある。1年生と地域協議会との意見交換会は、来年に向けてのアドバイス等を行い、今年度については完結という形で良いのではないか。

【村松副会長】

発表会に向けて、地域協議会としてアドバイス等を行いながらまとめあげる方向で進んでいきたい。

【藤田会長】

杉田委員が言うのは、委員の意見が反映されないようでは意味がなく、委員としての役目を果たしていないのではないかという主旨であると理解している。そうならないために、今後工夫していただきたい。

【村松副会長】

18日の施設見学が終わり、発表の前にどのような形で意見交換会を行っていくのかを決めていきたい。

【藤田会長】

他にあるか。

【春日委員】

18日の見学が終わった後に、班ごとに、委員も含めて、記憶が鮮明のうちに、お互いに感想を述べ合い、委員からアドバイスができれば一番良いのではないだろうか。アドバイスをももらった中で、生徒たちがまとめあげるという流れにできないだろうか。

【村松副会長】

学校の先生と協議を行い、そのような流れでできるようにしたい。

【藤田会長】

実行委員の中で、今ほど提案のあった、11月18日の施設見学の直後に生徒たちがまとめあげる時間を設けるということも含めて、検討していただきたい。以上で意見等は打ち切らせていただくが、よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

次に「3 協議」に移る。令和2年度地域活動支援事業の3次募集の取扱いについて、事務局からの説明を求める。

【五井野次長】

本年度の配分額に対して、29万4千円の執行残が生じている。29万4千円の内訳は、第7回浦川原区地域協議会における浦川原音楽協会に係る変更申請の審査結果に基づく残額が26万4千円、手作りの小さな文化祭の中止に伴う残額が3万円となっている。

資料2をご覧いただきたい。これは、3次募集を行う場合の募集期間や審査日を、2次募集の日程を基に整理したものである。案1について、町内会長への文書配布の日程に基づき、2次募集と同様に3次募集を行う場合の日程である。

案2について、11月19日に町内会長連絡協議会を開催する予定であり、案1よりも早く3次募集の周知を行うことができることから、募集期間を1週間短縮するものである。審査日については、いずれの案も12月下旬に開催する第10回浦川原区地域協議会で審査いただくことになる。

以上で説明を終了する。

【藤田会長】

11月19日に町内会長連絡協議会が開催予定とのことであり、より早く募集周知を行い、1週間募集期間を短縮できることから、案2でよろしくお願ひしたいが、意見等はあるか。

【北澤（誠）委員】

3次募集をする上での意見か。3次募集をするかしないかという意見ではないのか。

【藤田会長】

取扱いについてということなので、意見があれば発言いただきたい。

【北澤（誠）委員】

時間的に厳しいこともあるが、3次募集を行うべきではないと考える。

【藤田会長】

意見としてお聞きする。

【池田副会長】

私は3次募集を実施するべきだと考える。

30万円近くの高額の金額が残っている状況である。

3次募集を行って、どのような結果になるか分からないが、提案があった場合は、手を差し伸べるべきであり、有効に補助金を使っていただき、地域の活性化に貢献してもらいたい。

【藤田会長】

3次募集の実施について、賛成と反対の2つの意見があったが、その他にご意見等あるか。

【池田副会長】

北澤（誠）委員の、3次募集をしないと考える理由は何か。

【北澤（誠）委員】

3次募集については、事業を実施する時間がなく、新年度にまたいでしまう恐れもあり、募集を行ったところで、果たして提案があるのか疑問である。

また、浦川原音楽協会の変更申請について認められなかったことから、提案をしても不採択になってしまうのではないかと、提案者が心配する恐れもある。

【村松副会長】

私は、3次募集の実施について賛成である。

30万円という多額の金額であり、来年の3月まで期間があるため、その中でもできることはあると思う。

【池田副会長】

北澤（誠）委員の意見の中で、3次募集をしても時間がないという話があったが、1年近くかけて事業を行うということは無理だが、短時間でも目的を達成できる事業もあると考える。

【北澤（正）委員】

残額が生じているのであれば、ぜひ3次募集をしていただきたい。

ただ、春の当初募集で採択された団体に関しては、できれば提案を控えていただきたい。新たな団体等に門を広げて、募集金額の範囲で事業を行っていただきたいという思いがある。

【藤田会長】

北澤（誠）委員の「3次募集をするべきではない」ということではなく、池田副会長が言うとおり、広く募集を行い、有効活用するべきだと考える。

3次募集を行うということについて、賛成の方は拍手でお願いしたい。

（会場内から多数の拍手）

それでは、3次募集を行うということで、3次募集の取扱いについては、より早く募集周知ができるということから、案2でいかがか。

【春日委員】

案2に賛成である。町内会長連絡協議会で宣伝ができれば、より幅広い周知を行うことができると思う。

【藤田会長】

案2で進めるということによろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは、案2で事務局から進めていただく。

続いて、「(2) 出張地域協議会について」事務局からの説明を求める。

【五井野次長】

資料3をご覧いただきたい。出張地域協議会について、これまで地区単位で開催してきた経緯を踏まえて、今年度も地区単位で1会場を設定する。

今回は、下保倉地区を対象に、菱田集会所で、11月27日金曜日の午後6時30分から開催する予定である。

内容については、通常どおり第9回地域協議会を開催し、閉会後に第2部として、地域の皆さんとの意見交換会を計画している。

地区単位での実施ということから、下保倉地区の全町内会へチラシを配布し、防災行政無線での周知も行いたいと考えている。以上で説明を終了する。

【藤田会長】

今までも地域との意見交換会の場を設けていた。委員の改選もあったことから、新委員の紹介等を含めて、11月27日に出張地域協議会を菱田集会所で開催するということである。

第2部として、地域の皆さんからの意見も承るという観点から、意見交換会を実施する。よろしいか。

【北澤（正）委員】

下保倉地区の全町内会に案内するとなると、場合によってはかなりの人数がいらっしゃる場合がある。新型コロナウイルス感染症対策をどのように実施するのか、または告知するのか教えていただきたい。

【村松副会長】

アルコール消毒とマスクの設置は行いたいと考えている。以前、私が出張地域協議会に参加した時には、参加者は多くても5、6人程度だった。

【五井野次長】

菱田集会所の会場の広さについては、本日の決定を受けて確認する。傍聴人は、通常5名と設定しているが、より多くの傍聴人がお越しいただけるように、職員の出席についても調整したいと思っている。

【北澤（正）委員】

承知した。せっかくの機会のため、私も声かけを行っていききたい。

【藤田会長】

続いて、「4 その他」に移る。次回の開催については、出張地域協議会として開催日程が決まっていることから、委員の皆さんは、時間の確保をお願いしたい。

他に発言等があったらお願いしたい。

【相澤委員】

イノシシ被害対策について、県に問合わせたところ、いわゆる県の単独事業のみであり、姿勢としては弱いのではないかと感じた。

また、人身被害を及ぼしている熊などに比べて、イノシシ対策は弱く、そこまでいっていない。

国や県及び市、特に市の農村振興課が主力となっているとのことだが、分からない部分もあり、勉強会が必要だと思っている。

実態を聞くと、例えば、農協の青年部や認定農業者会が、罾の取得などを一昨年あたりから行っているが、なかなか成果を上げられないとのことであり、罾の仕掛けが悪い、事業的に継続していない、地域との連携が取れないなど、様々な課題があるようである。

補助事業の組合せや、補助残をどこで負担するのかなど、手遅れにならないように、地域協議会全体で理解していかなければならないと感じており、専門的な方や実際にイノシシ対策を行っている方から、先進事例や実態を聞く機会を、冬頃に向けて設けていただければありがたい。皆さんからの意見をいただきたい。

【藤田会長】

相澤委員のご意見は、鳥獣対策について、地域協議会で取り上げ、勉強会を行いたいとのことである。

今、地域で最も問題となっていることという視点からすれば、鳥獣対策については、審議できるものだと思うため、三役、相澤委員含め検討し、次回11月の地域協議会の時に、どのように進めていくかという話ができれば良いと思っている。

縦割り行政の中で、農協の青年部や認定農業者会、農業振興会等がばらばらの状態であり、予算の付け方についても課題があるため、地域の問題として取り上げることは大事なことである。所長はいかがお考えか。

【横田所長】

総合事務所としても重要な課題であると捉えており、地域協議会とともに考え、被害軽減につながるように努めたい。

【藤田会長】

委員の皆さんからも了解いただき、よろしくお願ひしたい。

その他にあるか。

【宮川委員】

個人的な意見になるが、日向の十字路に、空の里や法定寺の石仏の案内看板がある。法定寺の石仏の案内看板について、より適当な設置場所があると思うため、調査していただきたい。

また、同じ場所にカーブミラーがあるが、結露していて見えない。ますます結露しやすい時期になるため、町内会長と連絡を取っていただき、結果を反映していただきたい。

【藤田会長】

法定寺の石仏の案内看板は教育委員会、カーブミラーについては総務・地域振興グループに調査していただきたい。

宮川委員の言うように、国道沿いに法定寺の石仏の案内看板があるが、実態が伴っていない。標識表示について配慮する必要がある。

【五井野次長】

今ほどの意見については、現場の状況を確認した上で対応させていただきたい。

【藤田会長】

よろしくお願ひしたい。

他にあるか。

【春日委員】

ゆあみの検討委員会について、進捗状況はどうか。

【藤田会長】

私と村松副会長、池田副会長、杉田委員の4名で組織しており、ゆあみについては、改選前からの引継ぎ事項でもあるが、進んだ部分はない。

【春日委員】

現在の4名に新しい委員も含めて、様々な意見を言いあつた方が良いのではないかということで、皆さんからの賛同を得たと認識しているが、このことについてはどうなのか。

【藤田会長】

総務・地域振興グループと打合せをさせていただき、今後どうしたら良いのかという基本的な部分から掘り下げていきたい。

【村松副会長】

先般、ゆあみの検討委員会について、7名の委員で進めていきたいということを決めた。

これまでの4名に相澤委員、北澤（正）委員、五井野委員の3名を加え、今後は7名で打合せを行い、前に進んでいきたい。

【春日委員】

よろしくお願ひしたい。

【藤田会長】

大きな壁があると思うが、突破口を見つけ出していきたい。

他にあるか。無ければ、これで第8回浦川原区地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。